

静岡県専門医研修 プログラム



明日の医師を育てる



ガイドブック 2025

ふじのくに地域医療支援センター

<http://fujinokuni-doctor.jp>

＜本県での専門医研修プログラムの参加を検討されている皆様へ＞

本冊子は、日本専門医機構の認定を受けた基本領域専門医研修プログラム（静岡県内の医療機関が基幹施設となるプログラム）を紹介するものです。

静岡県内の病院がネットワークを組んで、質の高い研修プログラムを構築しています。

＜静岡県医学修学資金利用者の皆様へ（キャリア形成プログラム適用者以外）＞

県医学修学研修資金利用者も本冊子のプログラムに参加できます。

なお、公的医療機関等（56病院）で勤務した期間は、返還免除勤務期間として算定されますので、参加を希望する場合は、県医学修学研修資金利用者であることをプログラムリーダーに御相談ください。

＜キャリア形成プログラム適用者の皆様へ＞

令和2年度以降入学の地域枠入学者など、キャリア形成プログラム適用者も本冊子のプログラムに参加できます。キャリア形成プログラムにおける取扱いについては、各プログラムの後段に掲載しています。また、現在再構築中のプログラム等については、その旨記載しており、内容に変更がありましたら随時ホームページにて更新していきます。

キャリア形成プログラム適用者は、医療法及び医師法の一部を改正する法律（平成30年法律第79号）に基づき、医師少数区域等において4年間以上の勤務が必要ですが、以下の診療科については、柔軟な取扱いを行っています。なお、この4診療科においても可能な限り、医師少数区域等における勤務を行って頂くこととなります。引き続きよりよいキャリア形成プログラムとなるよう見直しをしていきます。

（柔軟な取扱いを行う診療科）

呼吸器外科、心臓血管外科、小児外科、脳神経外科

静岡県専門医研修プログラム一覧

(県内基幹病院かつ県内連携施設あり)

※下線は2025年度新設プログラム

領域	東 部	中 部	西 部	計
内 科	5 国際医療福祉大学熱海病院、静岡医療センター、沼津市立病院、順天堂大学医学部附属静岡病院、富士市立中央病院	8 静岡県立総合病院、静岡市立静岡病院、静岡市立清水病院、静岡赤十字病院、静岡済生会総合病院、島田市立総合医療センター、焼津市立総合病院、藤枝市立総合病院	9 磐田市立総合病院、中東遠総合医療センター、浜松労災病院、浜松医科大学医学部附属病院、浜松医療センター、浜松赤十字病院、JA静岡厚生連遠州病院、聖隷浜松病院、聖隷三方原病院	22
小 児 科		1 静岡県立こども病院	2 浜松医科大学医学部附属病院、聖隷浜松病院	3
皮 膚 科	1 順天堂大学医学部附属静岡病院		2 中東遠総合医療センター、浜松医科大学医学部附属病院	3
精 神 科	1 沼津中央病院	1 静岡県立こころの医療センター	2 浜松医科大学医学部附属病院、聖隷三方原病院	4
外 科	2 沼津市立病院、順天堂大学医学部附属静岡病院	2 静岡県立総合病院、静岡市立静岡病院	3 浜松医科大学医学部附属病院、聖隷浜松病院、聖隷三方原病院	7
整 形 外 科	1 順天堂大学医学部附属静岡病院	2 静岡県立総合病院、静岡赤十字病院	2 浜松医科大学医学部附属病院、聖隷浜松病院	5
産 婦 人 科		1 静岡県立総合病院	2 浜松医科大学医学部附属病院、聖隷浜松病院	3
眼 科	1 順天堂大学医学部附属静岡病院		1 浜松医科大学医学部附属病院	2
耳鼻咽喉科		1 静岡県立総合病院	1 浜松医科大学医学部附属病院	2
泌 尿 器 科	1 順天堂大学医学部附属静岡病院	1 静岡県立総合病院	2 浜松医科大学医学部附属病院、聖隷三方原病院	4
脳神経外科	1 順天堂大学医学部附属静岡病院	1 静岡県立総合病院	2 浜松医科大学医学部附属病院、聖隷浜松病院	4
放 射 線 科	2 順天堂大学医学部附属静岡病院、静岡県立静岡がんセンター(新規)	1 静岡県立総合病院	2 浜松医科大学医学部附属病院、聖隷浜松病院	5
麻 酔 科	2 静岡医療センター、順天堂大学医学部附属静岡病院	3 静岡県立総合病院、静岡市立静岡病院、静岡済生会総合病院(新規)	3 浜松医科大学医学部附属病院、聖隷浜松病院、聖隷三方原病院	8
病 理			2 浜松医科大学医学部附属病院、聖隷浜松病院	2
臨 床 検 査			2 浜松医科大学医学部附属病院、聖隷浜松病院	2
救 急 科	1 順天堂大学医学部附属静岡病院	3 静岡県立総合病院、静岡赤十字病院、藤枝市立総合病院	3 浜松医科大学医学部附属病院、聖隷浜松病院、聖隷三方原病院	7
形 成 外 科		1 静岡県立総合病院	2 浜松医科大学医学部附属病院、聖隷浜松病院	3
リハビリテーション科	1 順天堂大学医学部附属静岡病院		2 浜松医科大学医学部附属病院、浜松市リハビリテーション病院	3
総 合 診 療	2 西伊豆健育会病院、伊東市民病院	3 静岡県立総合病院、静岡徳洲会病院、焼津市立総合病院	3 浜松医科大学医学部附属病院、聖隷浜松病院、聖隷三方原病院	8
計	21	29	47	97

(概ねの目安：東部(熱海～富士)、中部(静岡～島田)、西部(菊川～湖西) 東海道本線分け)

専門医研修プログラムの紹介

■ プログラムには、最初にプログラム統括責任者からのプログラム参加を呼びかけるメッセージを掲載しており、ここを読めば、プログラム統括責任者の医師育成に対する思いが伝わります。

浜松医科大学内科専門医研修プログラム (浜松医科大学医学部附属病院)

1 はじめに

我々の専門医研修プログラムでは、専攻医の先生方にできるだけ早くサブスペシャリティの専門研修に進んでもらうために、あらかじめ初期研修中に研修した症例を確認し、少しでも早く各領域の必要症例を経験できるように、(とくに症例が不足しがちな領域も含めて)専攻医一人一人に合ったきめ細かいプログラムを作成しています。また、県内外の多くの医療機関の協力を得て、先進的で高度な医療を経験できる大学病院と第一線の医療を担う市中の医療機関の両方で幅広い研修を行うことが出来、学内外の豊富な指導スタッフを揃えています。浜松医科大学の内科専門医研修プログラムは、指導体制や指導内容、更には連携病院などを含めて自信をもって薦められるプログラムとなっていますので、是非、多くの先生の参加をお願いする次第です。



プログラム統括責任者 浜松医科大学医学部附属病院 卒後教育センター長
特任准教授 大橋 温

■ 研修の特徴をわかりやすく記載しています。

2 目的

本プログラムの到達目標は以下の通りです。

- ① 臓器別の内科系 Subspecialty 分野の専門医に共通して求められる基礎的な診療能力を修得すること。
- ② 知識や技能に偏らずに、患者に人間性をもって接する能力を修得すること。
- ③ 医師としてのプロフェッショナルリズムとリサーチマインドの素養を修得すること。
- ④ 静岡県内の医療事情を理解し、地域の実情に合った実践的医療を行えるようになること。

そのために具体的には、

- ・70に分類された各カテゴリーのうち、最低56のカテゴリーから1例を経験すること。
 - ・日本内科学会専攻医登録評価システムへ、症例(定められた200例のうち、最低120例)を登録し、それを指導医が確認・評価すること。
 - ・各領域として経験が必要な最低限の症例数を経験すること。
 - ・登録された症例のうち、29症例を病歴要約として内科専門医制度委員会へ提出し、査読委員から合格の判定をもらうこと。
 - ・技能・態度：内科領域全般について診断と治療に必要な身体診察、検査所見解釈、および治療方針を決定する能力、基本領域専門医としてふさわしい態度、プロフェッショナルリズム、自己学習能力を修得すること。
- を、3年間の専攻医研修期間で完了することになります。これは、内科専門医受験資格を得るために必須の条件でもあります。

3 研修病院群

(1) 専門研修基幹施設

浜松医科大学医学部附属病院

(2) 専門研修連携施設

連携施設 県西部(12)	連携施設 県中部(11)	連携施設 県東部(5)	特別連携施設(13)
磐田市立	静岡県立総合	静岡県立がんセンター	公立森町
御前崎総合	静岡市立静岡	沼津市立	国民健康保険佐久間
市立湖西	静岡市立清水	富士宮市立	浜松市リハビリテーション

静岡県キャリア形成プログラムのコースや勤務する医療機関について紹介しています。

8 「静岡県キャリア形成プログラム」における取扱い

(1) 領域、プログラムリーダー

領域：消化器内科 プログラムリーダー：第一内科教授 杉本健

(2) キャリア形成プログラム受入見込み数

「4 専攻医受入数」の内数 5人

(3) 具体的なコース

後期研修、後期研修後の7年間のうち4年間で医師少数区域または医師少数スポットで勤務

初期研修	後期（専門）研修	後期（専門）研修後
2年	3年	4年
県内病院	基幹病院としての浜松医科大学病院（1～2年間）と上記の連携病院（1～2年間）	勤務する医療機関については、医師不足地域での勤務が4年間となるよう、調整する

(4) 勤務する医療機関

二次医療圏	後期（専門）研修	後期（専門）研修後
賀 茂		上記のとおり
熱海伊東		
駿東田方	静岡県立がんセンター、沼津市立病院、静岡医療センター、 <u>NTT 東日本伊豆病院</u>	
富 士	<u>富士宮市立病院</u>	
静 岡	県立総合病院、静岡市立静岡病院、静岡市立清水病院、静岡赤十字病院、静岡済生会総合病院、静岡厚生連静岡厚生病院	
志太榛原	島田市立総合医療センター、焼津市立総合病院、藤枝市立総合病院、榛原総合病院	
中東遠	<u>磐田市立総合病院、市立御前崎総合病院、菊川市立総合病院、中東遠総合医療センター</u>	
西 部	<u>市立湖西病院、国立病院機構天竜病院、静岡厚生連遠州病院、総合病院聖隷浜松病院、総合病院聖隷三方原病院、浜松医療センター、浜松労災病院、浜松赤十字病院</u>	

※下線は、医師少数区域、医師少数スポットに所在する病院

※静岡徳洲会病院で研修を実施する可能性があります。

ふじのくに外科専門研修プログラム (静岡県立総合病院)

1 はじめに

外科医への道は、まさに挑戦と成長の連続です。手術を通じて我々はその責任の重さを感じると同時に、仕事に誇りを抱きます。しかし、その過程では技術の習得に悩む日も、無力感を覚える瞬間もあるでしょう。けっして楽な道ではありませんが、努力を続けることで実力がつき、成長を実感できる日が必ず訪れます。外科医としてのこの旅路には、努力の先にある確かな達成感が待っています。



ふじのくに外科専門研修プログラムでは、多くの症例を経験し、技術を磨くことが可能になっています。このプログラムを通じ、外科の魅力を存分に感じ、専門医資格取得ができるよう、我々は全力で支援します。研修終了後は当院で消化器外科医や乳腺外科医としての修練を続けたり、大学医局に入局するなど、選択肢は多岐にわたります。静岡県の医学修学研修資金を受けた専修医に対しても、キャリア形成を支援する体制を整えています。豊富な症例が揃う環境で、手術に没頭する3年間を共に過ごしましょう。誇り高き外科医としての第一歩を、共に歩み始めませんか。

プログラム統括責任者 静岡県立総合病院 消化器外科主任医長 佐藤 真輔

2 目的

外科医を志望する後期研修医が、静岡県中部の病院を3年間ローテーションし、「外科専門医」試験に合格することを主目的としています。

医の倫理を体得し、医療を適正に実践すべく一定の修練を経て、診断、手術および術前後の管理・処置・ケアなど、一般外科医療に関する標準的な知識と技量を修得します。

3 研修病院群

(1) 専門研修基幹施設

静岡県立総合病院

消化器外科 乳腺外科 心臓血管外科 呼吸器外科

(2) 専門研修連携施設

連携施設群 静岡市立静岡病院、静岡済生会総合病院、静岡市立清水病院

焼津市立総合病院、藤枝市立総合病院、島田市立総合医療センター

伊豆今井浜病院、順天堂大学医学部附属静岡病院、浜松労災病院

浜松医科大学医学部附属病院、静岡県立こども病院、静岡赤十字病院

富士宮市立病院、JA 静岡厚生連清水厚生病院

4 専攻医受入数

募集人数：7名／年間

5 研修期間

どのコースにおいても、3年の研修のうち、専門研修基幹施設で最低6か月以上の研修、専門研修連携施設で最低6か月以上の研修を必須とします。

① 一般コース

専門研修1年目と2年目は連携施設群あるいは基幹施設から各1施設以上で研修を行います。専門研修3年目は静岡県立総合病院消化器外科での研修と必要に応じて静岡県立こども病院小児外科、静岡県立総合病院心臓血管外科、同呼吸器外科をローテートします。希望により乳腺外科の研修も可能です。

② サブスペシャリティ領域志向コース

専門研修1年目と2年目は連携施設群あるいは基幹施設から各1施設以上で研修を行います。この2年間で外科専門研修プログラムが確実に達成できる見込みがつけば最長1年間サブ領域を重点的に研修します。専門研修3年目は静岡県立総合病院の6か月間の研修を含め、当病院群内のいずれの施設でもサブスペシャリティ研修が可能です。

③ 大学院進学コースまたは留学コース

専門研修1年目と専門研修2年目は①一般コースと同じです。ただしこの2年間に静岡県立総合病院での6か月の研修を含みます。この2年間で外科専門研修プログラムが確実に達成できる見込みがつけば6か月以上1年を超えない期間で浜松医科大学などの大学院での研究専任、あるいは留学が可能です。

6 研修計画（例）

① 一般コース

1年	静岡県立総合病院・連携施設
2年	
3年	

② サブスペシャリティ領域志向コース

1年	静岡県立総合病院（消化器外科）・連携施設
2年	静岡県立総合病院・連携施設
3年	静岡県立総合病院・連携病院（希望するサブスペシャリティ領域）

③ 大学院進学コースまたは留学コース

1年	静岡県立総合病院 ・ 連携施設
2年	静岡県立総合病院 ・ 連携施設
3年	大学院・留学

7 問い合わせ先

静岡県立総合病院 消化器外科主任医長 佐藤 真輔

事務局 総務課人材係

静岡県静岡市葵区北安東4-27-1

TEL 054-247-6111（代） E-mail sougou-soumu@shizuoka-pho.jp

「○」は連携施設等、「●」は返還免除対象の連携施設等（令和6年3月時点）、「★」は返還免除対象病院で医師少数区域・少数スポットの連携施設等を表す。

連携施設・関連施設		プログラム統括責任者	
中 部	西 部	職 名	氏 名
岐阜県立総合医療センター	岐阜県立総合医療センター	教授	山田 佳彦
岐阜県立総合医療センター	岐阜県立総合医療センター	診療部長（脳神経内科）	本間 豊
岐阜県立総合医療センター	岐阜県立総合医療センター	消化器内科部長	久保田 教生
岐阜県立総合医療センター	岐阜県立総合医療センター	消化器内科科長・教授	玄田 拓哉
岐阜県立総合医療センター	岐阜県立総合医療センター	診療参事兼人材育成センター長	笠井 健司
●	★	腎センター長	長井 幸二郎
		副病院長・ハートセンター長	縄田 隆三
		呼吸器内科 科長	吉富 淳
		副院長	久保田 英司
●		副院長・臨床研修センター長	戸川 証
		病院事業管理者	青山 武
		病院事業管理者兼病院長	関 常司
★		副院長	丸山 保彦
		第一医療部長	深澤 洋敬
●		副院長	若井 正一
		呼吸器科内科部長	豊嶋 幹生
●★	★★★	卒後教育センター長 特任准教授	大橋 澄
		臨床研修管理センター	重野 一幸
		副院長兼第一循環器内科部長	竹内 亮輔
		副院長（診療部長）	高瀬 浩之
	★★	循環器センター副センター長 ・循環器部長	杉浦 亮
	★	循環器科部長	若林 康
●		神経科医長	松林 朋子
●	★★	小児科学講座教授	宮入 烈
		小児科部長	大呂 陽一郎
●		皮膚・アレルギー科科長・教授	長谷川 敏男
●	★★	皮膚科・皮膚腫瘍科診断部長兼 アレルギー疾患研究センター長	戸倉 新樹
		皮膚科学講座教授	本田 哲也
		院長	杉山 直也
	○	院長	大橋 裕
	★	精神医学講座教授	山末 英典
	○	精神科部長	西村 克彦
		副院長兼第一外科部長	菅本 祐司
●		外科科長・教授	伊藤 智彰
		消化器外科主任医長	佐藤 真輔
		診療部長・消化器総合センター 副センター長	前田 賢人
●	★★★	外科学第二講座 教授	竹内 裕也
		呼吸器外科部長	中村 徹
		副院長	藤田 博文
		整形外科科長・教授	大林 治
		運動機能センター長整形外科	松岡 秀明
		整形外科部長	高橋 洋平
●★	★★★	整形外科科学講座教授	松山 幸弘
		院長補佐・整形外科部長	佐々木 寛二
	○	副院長	小阪 謙三
●	★★★	産婦人科学講座教授	伊東 宏晃
	★★	総合周産期母子医療センター長 ・産科部長	村越 毅
		眼科科長・特任教授	太田 俊彦
	★★	眼科学講座教授	兼子 裕規

※各プログラムの研修医受入定員数等により、参加の御希望に沿えない場合があります。



ふじのくに地域医療支援センター

〒420-8601 静岡市葵区追手町9-6

静岡県健康福祉部 地域医療課 内

TEL : 054-221-2868

E-mail : chiikiiryuu@pref.shizuoka.lg.jp

東部支部 〒410-8543 沼津市高島本町1-3
東部健康福祉センター 地域医療課 内
TEL : 055-920-2076
E-mail : kftoubu-iryuu@pref.shizuoka.lg.jp

中部支部 〒426-0075 藤枝市瀬戸新屋362-1
中部健康福祉センター 地域医療課 内
TEL : 054-644-9273
E-mail : kfchuubu-iryuu@pref.shizuoka.lg.jp

西部支部 〒438-8622 磐田市見付3599-4
西部健康福祉センター 地域医療課 内
TEL : 0538-37-2793
E-mail : kfseibu-iryuu@pref.shizuoka.lg.jp

【医師就労等相談窓口】
浜松医科大学 〒431-3192 浜松市中央区半田山一丁目20-1
浜松医科大学医学部附属病院
卒後教育センター内
TEL : 053-435-2873
E-mail : tiikiiryousienn@hama-med.ac.jp

静岡社会健康医学 大学院大学 〒420-0881 静岡市葵区北安東4-27-2
静岡社会健康医学大学院大学 内
TEL : 054-295-5419
E-mail : vmcfujinokuni@s-sph.ac.jp

【編集】
公益社団法人 静岡県病院協会

